かわら版

第５０号

2026.10 月

佐賀市社協は
全世代・世帯単位の
困りごとを一緒に考えます

**どこに相談してよいかわからない
お困りごと・・・まずはご相談ください。**

相談実績

項目	７月～８月	校区
■新規相談件数	**39 件**	**件**
収入・生活費１１件、住まい８件、 病気や健康・障がい６件、債務２件 税金や公共料金の支払い１件、 仕事探し・就職１件、地域１件、 家族１件、引きこもり１件、 食べ物１件、その他６件		
■延べ相談件数	**451 件**	**件**
○訪問・面接	124 件	件
○物資支援	０件	件
○同行支援	９件	件
■地域支援 延べ件数	**602 件**	**件**

「看護学校」から29名＋2名(予定)「社会福祉士養成校」から２名の実習生を受け入れました！

老人センターにて、看護学校の１日見学実習。本所では、社会福祉士養成校から23日間の受け入れを行いました。近年、福祉課題は多岐にわたっており、それに伴い社会福祉士受験資格取得の為の履修科目、実習期間なども増えています。

実習中は、地域の活動を学ぶことも必須項目です。地域で活動されている皆様には、国の考えや地域の方の熱い想いを学ばせていただきました。

佐賀市社会福祉協議会では、一人でも多くの人に福祉の専門職を目指してもらえるよう、今後も福祉の人材育成に取り組んでいきます。

がんばりました！

事例　約20年の引きこもり男性への支援

対 象 者：母親と二人暮らしの６１歳男性。
相談経緯：高齢の母親が、息子（40代で解雇されて以降引きこもり）の事を担当ケアマネに相談。市社協CSWに繋がった。

◆＜初回＞

息子の希望で、母親同席にて自宅で面談。

・母親から聞き取り。

息子は受診以外に外出なし。
食事・入浴、トイレ以外は自室で過ごす。
母親は、自分が息子を支えられなくなった際、娘に負担が掛かることが気がかり。

・息子へ聞き取り。

質問に対して、首の動きだけで返事をされる。
自室での過ごし方を尋ねるも返答無し。
息子は面談中無言で目線を合わせず。こちらを見ることがあり、興味はある様子が伺えた。

◆＜支援内容＞

①かかりつけの病院（神経内科）を受診。質問等に回答されず、診察ができなかったため、専門医の受診を勧められた。
②関係する専門職等が精神科の診察を勧めるが、息子が拒否されるため、遠方の娘に受診を勧めてもらったところ、素直に同意される。
③娘に精神科受診に同行してもらい、「若年性認知症」と診断された。

◆＜現在の状況＞

①母親のケアマネに助言をもらい、介護保険サービスの利用のため、認定申請中。デイサービスとヘルパーの利用希望あり。
②母親は高齢で足腰の痛みはあるが、ほぼ自立されている。配食などのサービスを組み合わせながら、今後も二人での生活を継続する予定。
③月１回の精神科受診には、しばらく娘が同行することになった。

社会福祉法人
佐賀市社会福祉協議会

Tel：0952-36-9616
（代表番号：0952-32-6670）
E-mail：chiiki@scshakyou.jp
相談時間：8:30～17:00（土日・祝日・年末年始を除く）

地域支援課の
直通の電話番号に
お電話下さい。